

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
地理歴史	地理総合	2	一斉	共通	1

教科書（発行所）	高等学校新地理総合（帝国書院）
教科書以外の教材	1 新詳高等地図（帝国書院） 2 地理総合演習ノート（啓隆社） 3 新編 地理資料 2026（東京法令出版）

目 標	1 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活の関連から考察します。 2 現代世界の地理的認識を養い、地理的技能、地理的見方・考え方を身につけます。 3 近隣の国々の生活・文化を理解し、日本と比較しながら異文化を理解し尊重する態度を学びます。 4 地球に生きる人類の課題を身近に理解し、その解決に向けて探究します。
-----	--

	学期	学習時期	学習事項	学習内容	考查等
学習のねらい	1 学期	4月	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	中間 期末 考查
		5月			
		6月			
		7月			
	2 学期	9月	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	実力 中間 期末 考查
		10月			
		11月			
		12月			
	3 学期	1月	第2章 地球的課題と国際協力 第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	追究事例 自然 ①オセアニア ②東南アジア 宗教 ①中央アジア・西アジア・北アフリカ ②インド 歴史 ①ラテンアメリカ ②サハラ以南アフリカ ③ロシア 産業 ①アメリカ合衆国 ②東アジア ③ヨーロッパ 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題 日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え 生活圏の調査と地域の展望	実力 学年末 考查
		2月 3月			

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理総合の学習では、問題を見つけ、その原因を探り、解決に向けての行動を考えてゆくことが大切です。ですから、「何がどこにある」をたくさん覚える事だけがゴールではありません。「なぜそこにあるか」について、もの見方や考え方を身につけ、分析や表現の技能を修得することが本当の学力につながります。</li> <li>・演習ノートを使つての作業や講義では、板書をそのまま写したり、ただ作業を進めたりするのではなく、見方や考え方からのヒントになる事柄をメモしたり、自分の感じたことや考えを整理して書き込んだりしていくと、後の学習に広がりが生まれます。</li> <li>・提出物は期限を守って提出してください。</li> <li>・欠席した場合は、その時間のノートを級友から借りて写させてもらい、何をやったか把握することが継続的学習には大切です。</li> </ul>
----------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	地図や統計、画像などを地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
評価の方法	提出物や定期考查、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力を満遍なく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		